

# みんなの話・輪・和

令和3年3月 第8号 文責：広安西の子部長（本田 有美子）

先輩方に学ぶ

第7号に引き続き、いつも環境委員会の活動にご協力いただいている有尾さんに、益城町の湧き水について教えていただきました。有尾さんは、益城町が自然豊かで生き物がたくさん住むような場所になるよう、湧き水を活用して様々な取組をされています。どのような思いで活動されているかを伺いました。

## ☆実際にどんな活動をされていますか？

湧き水が流れる水路に野菜を置いて、生き物を増やす取組をしています。水路に野菜を置くのは、どのような生き物がいるかを調べるためです。ナスやキュウリ、ジャガイモを置いた結果、カワニナがいることが分かりました。カワニナがいるということはホタルが育つ環境になったということ。ホタルが飛び交う湧き水の水路になるといいなと思います。



環境委員会の児童との活動の様子



## ☆これからの地域や子どもたちへのメッセージ

昔からこの地域の人々は、水神様を祭り、水を大切にしてきました。子どもたちには、自然環境や生き物について学ぶ活動を通して、感動する体験をしてもらいたいものです。さらに、地域の人々と子どもたちが繋がっていただけるといいと思います。ホタルなどの生き物を一緒に育てたりしながら、地域がより活性化するといいと思います。